北海道遺産だより

NPO 法人北海道遺産協議会
北海道遺産情報紙 Vol.19
2017 年 3 月 14 日発行

報告 1 ― 平成 28 年度「北海道遺産サミット」を開催しました

平成 28 年度北海道遺産交流会議「北海道遺産サミット」を 1 月 22 日（日）に札幌市豊平館で開催しました。

サミット前半は、昨年度の「ほっかいどう遺産ＷＡＯＮ」によるご寄付への感謝状贈呈式を行い、イオン北海道・星野社長、マックスバリュ北海道・出戸社長にご出席いただき、山谷北海道副知事、石森会長から感謝状を手渡しました。

助成活動報告では今年度の活動から「企画展『風景と記憶の森へ～地形とアイヌ語地名から読み解く白老・登別～』」（一般財団法人アイヌ民族博物館）、「美唄青年会議所認定・炭鉱（ヤマ）の記憶「こども大使」プロジェクト事業」（美唄青年会議所）の２件の活動報告をいただきました。いずれも記憶を未来につなぐ活動を行われており、活動報告を受けて星野社長からは「熱意ある活動報告を聞き、ほっかいどう遺産ＷＡＯＮカードで北海道の歴史文化を大切に次の世代に伝える活動を益々発展させたいと感じました」との言葉をいただきました。

サミット後半では、ゲストに演劇ユニット「TEAM NACS」のリーダー・森崎博之さんを迎え、「私が出会った北海道の宝物」をテーマに話題提供いただきました。

森崎さんらしいユーモア溢れる気さくな語り口で、自身のリーダー論や演劇に対する想いを語っていただくとともに、大好きな“食”をキーワードに『北海道の農業応援団長』として出会った作物や恵まれた大地、地域の人々から見えてきた北海道の素晴らしさについて語っていただきました。

話題提供の後は、協議会理事の池ノ上真一、植村真美が加わりトークセッションを行い、池ノ上理事から森崎さんに向けて、北海道を愛する活動のひとつとして北海道遺産を応援していただきたいとの思いを伝えて閉会となりました。これまでに開催した交流会議とはひと味違った内容となりましたが、地域団体を含む約 80 名の参加者が同席し、若い世代による北海道遺産の新たなスタートのヒントを感じるサミットとなりました。



左から出戸社長・星野社長・山谷副知事・石森会長



「TEAM NACS」のリーダー・森崎博之さん



左から池ノ上理事・植村理事・森崎さん

報告２ ―「北海道遺産フォトコンテスト 2016」力作多数！

昨年、７月から８月にかけて募集していた、「北海道遺産フォトコンテスト 2016」。

北海道遺産の美しさを改めて写しとったもの、新しい視点からのアングル、など素晴らしい作品の数々をご応募いただき、選考は困難を極めましたが、今回は下記の方々にグランプリ・準グランプリを贈らせていただきました。入賞作品は９月に行われた「北海道ヘリテージウィーク 2016」で展示させていただき、来場者が作品をみて思い出を振り返えるきっかけになるなど、北海道遺産を伝えるよい展示となりました。

入賞された皆様をはじめ、素晴らしい作品の数々をご応募いただいた皆様ありがとうございました。

●入選作品の詳細はこちら
北海道遺産フォトコンテスト 2016 入選作品発表ページ
→http://bodoni-inc.com/scene-hokkaido/data/isanpc2016kh.pdf

WEB ページ QR コード→

【一般の部】

◆グランプリ

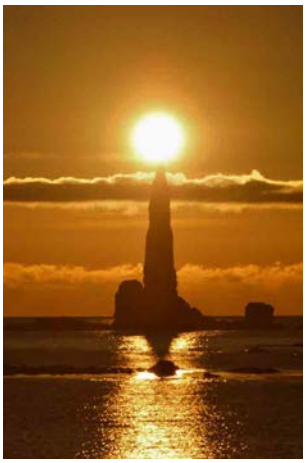


「京極の湧水」長友　逸郎さん（京極のふきだし湧水）

◆準グランプリ



「荘厳」部田　茜さん（空知の炭鉱関連施設と生活文化）



「ローソクに火が灯る」
田中　義秋さん
（積丹半島と神威岬）

【キッズの部】

◆グランプリ



「花火と雨宮 21 号」矢野　裕太郎さん
（森林鉄道蒸気機関車「雨宮 21 号」）

◆準グランプリ



「時を刻む」
深作　莉子さん
（開拓使時代の洋風建築）



「縁の下の力持ち」
丸山　明日香さん
（開拓使時代の洋風建築）

報告３　札幌駅前通地下歩行空間で「北海道ヘリテージウィーク」開催

昨年、９月６日（火）～９月 11 日（日）に札幌駅前通地下歩行空間で「北海道ヘリテージウィーク」を実施しました。北海道遺産協議会主催では初めて、たくさんの方々が通行する公の場所での展示となりました。

今回のイベントでは、当協議会と同じように地域資産を活用した取組をされている団体に展示のご協力をいただいたり、今年度 WAON 助成事業で遺産地域を舞台に演奏活動をされた NPO 法人奏楽さんに演奏をしていただいたり、さらに、遺産地域の皆さんからは、地域のパンフレットを送っていただき展示・配布しました。

たくさんの皆様方のご協力により、来場者が北海道遺産に気づく・親しむ・思いをはせる、とてもよいイベントになりました。ご協力いただいた皆様、ご来場いただいた皆様ありがとうございました。













展示協力：
NPO 法人歴史的地域資産研究機構、NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団、札幌建築鑑賞会、軟石や、ドニワ部
ゲスト参加：NPO 法人奏楽

おでかけガイド　北海道遺産関連イベントなど

鬼火の路　幻想と神秘の谷（登別市）

日没後、地獄谷の木道をライトアップします。足元を照らす明かりが幻想的な世界に誘います。立ち上る白煙や地獄谷の爆裂火口跡は暗闇の中でも大自然の息吹を感じます。

●場所：地獄谷遊歩道・地獄谷展望台（登別市登別温泉町）
●日にち：通年開催中
●問合せ：登別観光協会　TEL：0143-84-3311
詳しくはこちら→http://www.noboribetsu-spa.jp/?events=onibinomichi&lang=ja

松前さくらまつり（松前町）

桜の名所 100 選にも選ばれている松前公園。約 1 万本 250 種の桜が時差開花して、約 1 か月間お花見を楽しむことができます。

●場所：松前公園（松前町松城）
●日にち：2017年4月下旬～
●問合せ：松前町観光協会　TEL：0139-42-2726　イベント情報→http://www.asobube.com/event.cgi

お知らせ　新たな担い手が加わりました！

北海道遺産の「札幌苗穂地区の工場記念館群」と「ジンギスカン」に新たな担い手が加わわりました。

「札幌苗穂地区の工場記念館群」には千歳鶴酒ミュージアムが加わりました。千歳鶴酒ミュージアムは、古くから豊平川の伏流水を使った酒造りを行う日本清酒㈱の、札幌の地酒づくりの歴史を伝える見学施設です。

「ジンギスカン」には第 746 なよろ煮込みジンギス艦隊が加わりました。地元の子供たちに煮込みジンギスカンを伝えたり、B-1 グランプリに出場するなど煮込みジンギスカンを伝える活動を行っています。

北海道遺産は地域の宝物として担い手の皆さまによって守られています。担い手が増えることで、北海道遺産を活用した地域の元気づくりがますます進むことを期待したいと思います。事務局はこれからも担い手の皆さんを盛り立て行きたいと思いますので、皆様も新たな担い手の方々の応援をよろしくお願いします。



▲日本清酒代表取締役社長・堀様と神協議会副会長



▲加藤名寄市長と石森協議会会長、なよろジンギス艦隊阿部艦長・定木副艦長

事務局だより

事務局から①　毎週木曜日の北海道新聞夕刊で北海道遺産を紹介します！

この度、３月２日（木）の北海道新聞夕刊から毎週木曜日に「魅力再発見　北海道遺産」として、当事務局３名が北海道遺産を１件１件紹介していく記事を掲載していただくことになりました。現時点では札幌圏とそのほか数か所の地域圏ページに掲載しています。

皆様の地域の遺産について、新しい情報をいただいたり確認をお願いすることがあると思いますので事務局からご連絡をした際にはご協力いただけると助かります。

皆様の地域がいつ掲載されるのかお楽しみに！



事務局から②　道庁赤れんが庁舎の遺産パンフレットコーナーご活用ください

昨年度、道庁赤れんが庁舎２階の「観光情報コーナー」に、新しい北海道遺産の展示用什器を設置しました。北海道遺産のＰＲコーナーですので、遺産に関連するイベント等のチラシがありましたら、ぜひ事務局までお送り下さい。

また、北海道遺産協議会パンフレットを地域の観光施設等に設置してくださる方も随時募集中です。活動拠点などにぜひ設置いただけると嬉しいです。事務局までご連絡ください。



▲赤れんが庁舎２階「観光情報コーナー」は観光客が多数訪れています

NPO 法人 北海道遺産協議会
〒０６０－００４１
北海道札幌市中央区大通東２丁目３番地１　第３６桂和ビル７階
（札幌市営交通地下鉄東西線バスセンター前駅・５番出口直結）
ＴＥＬ：０１１－２１８－２８５８　　ＦＡＸ：０１１－２３２－４９１８　　E-mail：info@hokkaidoisan.org